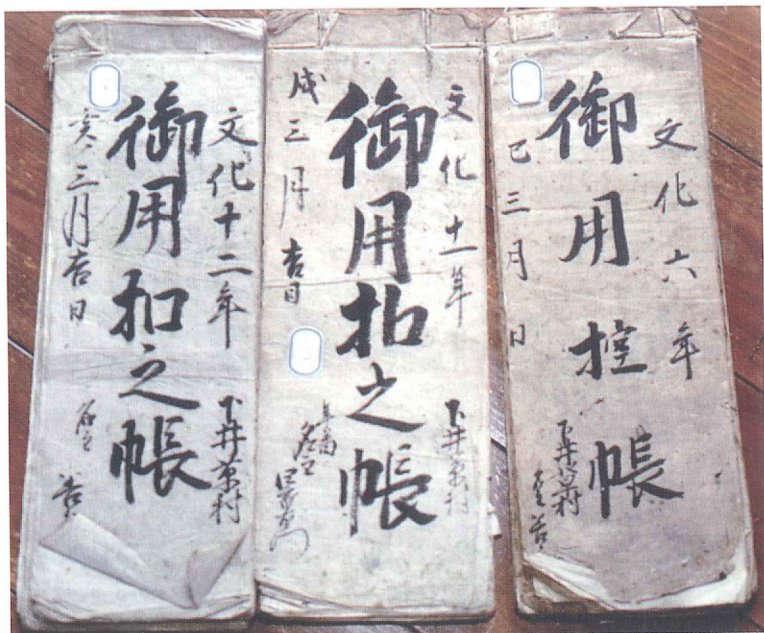


井口喜容家所藏文書



- 〔指定年月日〕昭和五九年三月三十一日
- 〔種別〕有形文化財（古文書）
- 〔名称〕井口喜容家所藏文書
- 〔点数〕五〇四点
- 〔所有者等〕個人
- 〔所在地等〕清水二丁目

井口喜容家所蔵文書

寛永一二年（一六三五）から明治三五年（一九〇二）に至る間の旧下井草村の地方文書であるが、明治のものは少なく、その大部分は江戸時代の文書が占めている。

下井草村の文書は何箇所かに分散して保存されているが、本文書は地方文書全般を含むとはいえ、とりわけ村政関係のものが豊富である。

なかでも寛政六年（一七九四）から天保一〇年（一八三九）に至る「御用控帳」二三冊、文化一三年（一八一六）から天保八年（一八三七）の「村入用帳」七冊、寛永一二年（一六三五）から天保二年（一八三一）の間の「名寄帳」一三冊などがまとまっている。一方、検地帳、宗門人別帳類は欠けている。

下井草村は高家今川家の領地で、井口喜容家は「草分け善兵衛家」と称され、再三名主・年寄などの村役を勤めている。本文書は、下井草村の近世史料の基本的文書の一つであり、また、江戸時代の高家支配の歴史を知るうえでも貴重な史料となっている。

【文化財所在地】

